

## 研修生受け入れの流れ

### 1.ヒアリング

御社の事情をお伺いしながら「研修生受け入れ」に関してコンサルティングいたします。企業様によって多種多様なご要望をお持ちであるという事情をふまえ、御社専属の広報担当者を置いて対応いたします。



### 2.現地の送り出し機関にて研修生を募集

広報担当が伺った内容をふまえ、募集要項を作り、現地の送り出し機関に条件に合う候補者の募集を依頼します。



### 3.書類選考・ペーパー試験・面接

現地の送り出し機関は、弊組合からの募集要項通りに第一選考を行います。書類選考及びペーパー試験・面接を実施し、研修生候補を決定します。



### 4.現地での事前教育（約3～4か月）

試験・面接の合格者に、現地にて日本語・日本文化・日本の生活習慣などといった、日本滞在のために必要な基礎知識の研修を実施します。



### 5.日本入国

到着した研修生を、弊組合のスタッフが、空港に出迎えます。



### 6.入国式

研修生を歓迎する入国式が行われます。研修生にもスーツ姿で参加してもらいます。



### 7.集合研修

入国した研修生には、1 か月程度、組合本部所在地付近の寮で集合研修を受けてもらいます。研修が終わるまでには、ごみ出しや地域住民への挨拶など、日本で生活をしていく上での重要なことができるよう指導いたします。



### 8.研修スタート

各受け入れ企業様の研修カリキュラムに沿って、約 11 か月間の研修をスタート。



### 9.技能検定試験

技能検定試験とは？——2 年目の技能実習に進むために合格しなければならない試験のこと。1 年間の研修の成果が問われるこの試験には、弊組合が受け入れ支援をしたほぼ全ての研修生が合格しています。



### 10.技能実習スタート（2 年目以降）

技能検定試験の合格者は、企業様と雇用契約を結び、1 年または 2 年間にわたり日本人従業員と同様の待遇で業務につき、技能の習熟度を高めます。



### 11.帰国

最長で 3 年間の研修・技能実習期間を終えると、研修・技能実習生は帰国します。日本で培った最新技術と日本語、そしてそれに裏打ちされた自信と誇りを胸に、新しいスタートをきる嬉しい瞬間でもあります。